

没後30年

井伏鱒二展

アチラコチラデ
ブンガクカタル

2023年
9月30日[土]—11月26日[日]

〔開館時間〕9:30～17:00(入館は16:30まで) 〔休館日〕月曜日(10月9日は開館)

〔観覧料〕一般700円(500円)、65歳以上・20歳未満及び学生350円(250円)、
高校生100円(100円)、中学生以下は無料 * ()内は20名以上の団体料金

〔編集委員〕絲山秋子

〔主催〕県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会

〔特別協力〕ふくやま文学館 〔協力〕杉並区立郷土博物館、山梨県立文学館

〔後援〕NHK 横浜放送局、FMヨコハマ、神奈川新聞社、テレビ

〔協賛〕新潮社、中央公論新社、京急電鉄、相模鉄道、東急電鉄、横浜高速鉄道、神奈川近代文学館を支援する会

〔広報協力〕KAAT 神奈川芸術劇場

写真提供 新潮社

design: ada.yoshiyuki

横浜・山手 港の見える丘公園内

県立 神奈川近代文学館

Kanagawa Museum of Modern Literature

〒231-0862 横浜市中区山手町110 TEL 045-622-6666

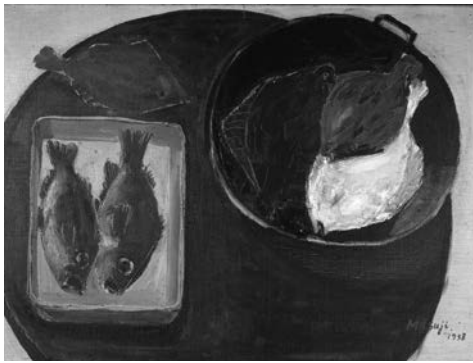
<https://www.kanabun.or.jp>

〔最寄り駅〕東急東横線直通・みなとみらい線 元町・中華街駅6番出口から徒歩10分

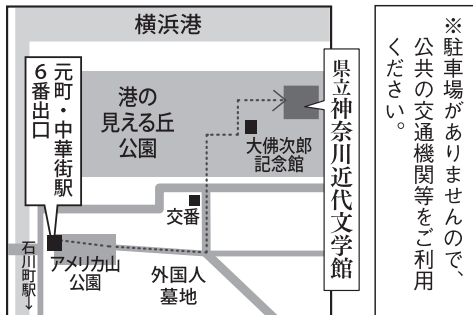




愛用の眼鏡 ふくやま文学館蔵



井伏画 さかな 少年時代は画家志望で、絵が好きだった井伏は、還暦のころから6年間、杉並の自宅近くの画塾に通った。画塾の展覧会に出品した、初めての油彩作品。杉並区立郷土博物館蔵



＜東急東横線直通・みなとみらい線＞元町・中華街駅下車6番出口(アメリカ山公園口)から徒歩10分
＜バス＞・神奈川中央交通バス①系:桜木町駅～保土ヶ谷駅
・横浜市営バス②系:桜木町駅～山手駅
・観光スポット周遊バス「あかいくつ」
いずれも「港の見える丘公園前」下車、徒歩3分
＜JR根岸線＞
石川町駅下車 元町口(南口)から徒歩20分

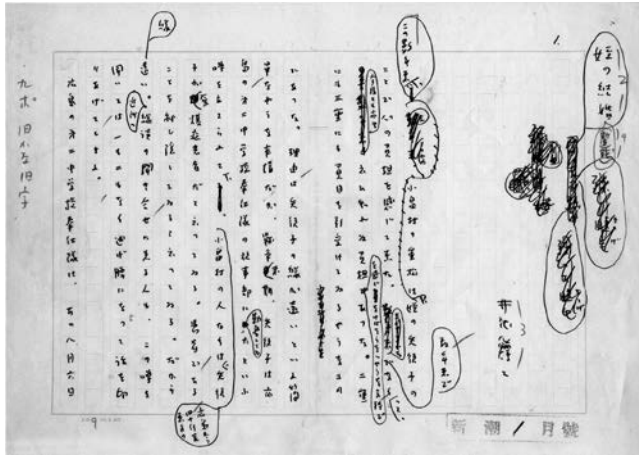


次回展示
常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」
第2部 芥川龍之介から中島敦まで
コーナー展示:大佛次郎没後50年
2023年12月2日[土]—2024年1月21日[日]

井伏鱒二展 アチラコチラデ ブンガクカタル

市井の人々の哀歓に寄り添った作品で、多くの愛読者を持つ作家・井伏鱒二(1898～1993)。初期の名作「山椒魚」や、原爆による悲劇の実相を描き国際的にも評価が高い「黒い雨」のほか、「荻窪風土記」などの随筆、「厄除け詩集」、「ドリトル先生」シリーズの翻訳等でも親しまれています。

本展では作品世界に加えて、井伏が愛したもの—旅、釣り、将棋、書画、焼物などの世界にも注目します。また、一番弟子である太宰治をはじめ、井伏の随筆や対談集に登場するお馴染みの作家たちとの交流を、豊富な書簡などで紹介。文学や趣味、そして人生をめぐって交わされる言葉の数々とともに、〈アチラ〉から〈コチラ〉から、井伏の人間的魅力に迫ります。



「黒い雨」原稿 「新潮」1965年(昭和40)1月～1966年9月号に連載 当初のタイトルは「姪の結婚」。原爆の黒い雨を浴びた閑馬重松の姪・矢須子は、良い縁談が持ち上がった矢先に原爆症を発症してしまう。被爆者である重松静馬や医師・岩竹博の手記をもとにしたほか、多くの人々に取材して完成した。ふくやま文学館蔵



太宰治 井伏ほかあて結婚誓約の手記 1938年10月24日 井伏は翌年の太宰の結婚式で媒酌人を務めるなど、師として、何かと面倒をみた。当館蔵・井伏節代氏寄贈

会期中のイベント

※このほか井伏展オンラインイベントや「文豪とアルケミスト」とのタイアップを予定。詳しくはホームページ等でご確認ください。

・④以外は要事前申込。お電話(045-622-6666)またはホームページの申込フォームで、お名前・電話番号・希望日・人数をお知らせください。料金は当日のお支払い、先着順で定員になり次第締め切ります。
・会場:④以外＝展示館2階ホール、④＝展示館1階エントランスホール

①井伏展記念講演会「リズムと余韻——私が井伏を推す理由」 10月14日(土) 14:00～
講師:絲山秋子(作家、本展編集委員) 料金:一般1,000円(友の会会員800円)

②井伏展記念講座「井伏鱒二——山椒魚の忍耐」 10月28日(土) 14:00～
講師:勝又浩(文芸評論家) 料金:一般800円(友の会会員600円)

③文芸映画を観る会「黒い雨」 11月17日(金)、18日(土) 各日13:30～ 1989年 東映 モノクロ 123分 BD上映
監督:今村昌平 出演:田中好子、北村和夫、市原悦子ほか 料金:一般800円(友の会会員600円)
※文芸映画を観る会(当日入会可・無料)及び神奈川近代文学館友の会向けに会員制行事です。

④井伏展スライドトーク(職員による展示説明) 会期中の毎週金曜日 14:00～ 参加無料(要展示観覧料)・申込不要

⑤開館40周年記念企画「文学・どこへゆくの」 第1期①「現代日本文学のほんとうの流れ」 11月12日(日) 14:00～
対談:湯川豊(文芸評論家)、尾崎真理子(文芸評論家) 料金:一般1,000円(友の会会員800円)

⑥古田足日シンポジウム「子どもの味方・子どもの見方」 11月25日(土) 13:30～
報告:藤田のぼる(児童文学評論家・作家)ほか
コメンテーター:宮川健郎(児童文学研究者)、司会:佐藤宗子(児童文学研究者) 参加無料・要事前申込
主催:白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所 古田足日研究プロジェクト
共催:県立神奈川近代文学館、(公財)神奈川文学振興会

新潮文庫で読む井伏鱒二



『山椒魚』『駅前旅館』『さざなみ軍記・ジョン万次郎漂流記』も好評発売中!

中公文庫 井伏鱒二の本

七つの街道
古き面影を残す街道を歩き、風趣豊かに綴る紀行文集
巻末エッセイ・三浦梧郎
●990円

太宰治
師として友として親しく交遊した太宰治をめぐる思い出
あとがき・小沼丹
●990円

珍品堂主人
増補新版
骨董屋・珍品堂を中心に人間模様を鮮やかに描く中篇小説
巻末エッセイ・白洲正子
●990円

広島風土記
広島生まれの著者による郷里とその周辺にまつわる作品集
解説・小山田浩子
●990円

◎表示価格には税(10%税込)を含みます